

第3章 地区別計画

1 地区別計画とは

「地区別計画」は連合町内会エリアを基本とした、7つの地区で策定しています。各地区が意見交換をしながら、課題や目標を設定し、地域で取り組む内容をまとめました。

地区別計画は第2期計画から作られています。第3期計画では区計画と同じ「7つの論点」にもとづいて、話し合いやアンケートなど、地域に合わせた方法により意見を集めました。また、作成にあたっては、自治会町内会、地区社会福祉協議会、各種団体をはじめ、地域にお住いのみなさんと地域状況を共有しながら進められ、推進の体制についても検討がなされるなど、作成の段階から「区民総ぐるみ」が意識された計画となりました。

(1) 7地区のスローガン

地 区	スローガン	ページ
豊田地区	みんなで見守りあい、みんなで支えあう・・・“お互いさまがあたりまえ”	80
笠間地区	顔の見えるまち	84
小菅ヶ谷地区	みんなでつくる ふるさと 小菅ヶ谷	88
本郷中央地区	顔の見える関係づくり ～世代間（タテ）・隣近所（ヨコ）のつながり～	92
本郷第三地区	顔の見えるまちづくり	96
上郷西地区	さあかえよう 私のまちを ～子どもたちの未来のために～	100
上郷東地区	手をつなごう！あいさつしよう！上東！	104

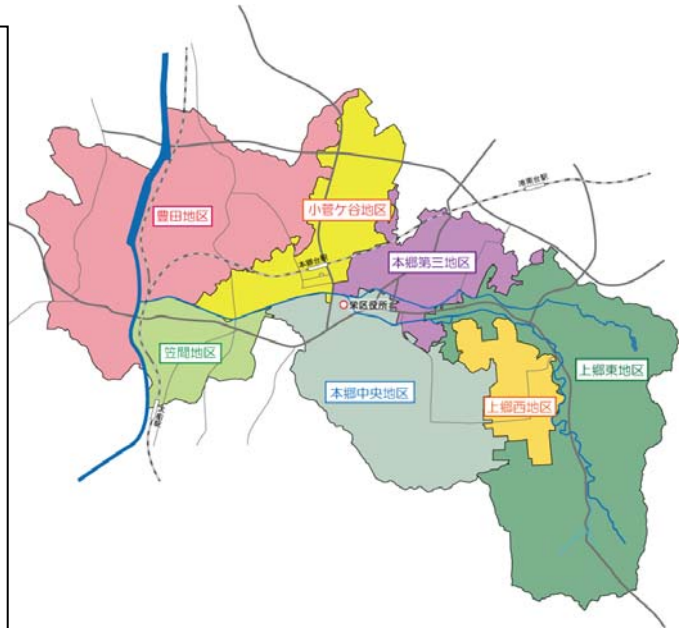
(2) 7地区共通の取組

第3期計画では、「災害時要援護者支援の取組」を栄区内全ての地区で取り組むテーマとして設定し、各地区の計画に盛り込みました。

2 7地区の人口、世帯数、高齢化率

【人口・世帯数・年少人口比率・高齢化率】

- 平成 27 年 3 月末現在
- 『町丁別年齢別男女別人口』及び『町丁別世帯と男女別人口』（政策局統計情報課）より作成
- ※ 個人情報の関係により、一部町丁別人口が非公表となっているため、区の人口と、地区ごとの人口の合計が一致していません。
また、連合町内会ごとのデータが無いため、町丁別のデータを連合町内会区域に近い形で集計しています。
- ※ 年少人口比率：年少人口（0～14 歳）を人口で割ったもの
- ※ 高齢化率：高齢者人口（65 歳以上）を人口で割ったもの



	人口（人）	世帯数（世帯）	年少人口比率（%）	高齢化率（%）	要援護者（人）
栄区	123,578	55,077	12.8	28.4	5,385
豊田地区	28,652	12,802	12.7	26.3	1,211
笠間地区	16,199	7,209	14.1	20.8	536
小菅ヶ谷地区	16,601	7,416	14.6	24.3	747
本郷中央地区	23,096	10,809	11.2	33.9	1,101
本郷第三地区	15,422	6,639	14.6	23.4	619
上郷西地区	7,418	3,223	11.1	42.1	377
上郷東地区	15,711	6,979	10.9	35.0	794

【要援護者数】

○平成 27 年 10 月現在

○関係資料より作成

※ここでの「要援護者」は、次のとおりです。

- ①介護保険の要介護度 3（重度の介護を要する：立ち上がりや歩行等が自力でできない等）以上の居宅で生活する方
- ②要支援以上で一人暮らしの方、いずれもが要支援以上の高齢者のみの世帯
- ③認知症のある方（要介護度 2 以下で、認知症の日常生活自立度がⅡ以上の方）
- ④障害者自立支援法（身体・知的・精神障害）に基づく障害程度区分認定者の方、または視覚障害者、聴覚障害者については身障手帳 1～3 級の方